

《 **百日咳**が全国的に流行 《とニュースで取り上げられています。

しろくまこどもクリニックでは、百日咳予防のため、**小学校入学前に接種**の『麻しん・風疹ワクチン(MR)』と合わせて『三種混合ワクチン(DPT)』の追加接種と、**11歳～12歳に接種**の『二種混合ワクチン(DT)』に替え百日咳ワクチン『三種混合ワクチン(DPT)』への切り替えをおすすめしています。

いずれも自費になりますが、是非ご検討ください。

また、**妊婦の方や妊娠を考えている方**は、『三種混合ワクチン(DPT)』の接種をおすすめします。



その理由は・・・

学童と大人では、百日咳の症状に個人差があり、軽い人は鼻風邪、重い人はひどい咳で寝られなくなります。

問題は、五種混合ワクチンの3回接種が済んでいない乳児が感染すると、非常に重くなる可能性があることです。

初めは鼻水程度ですが、数日で絶え間ない咳き込みや嘔吐、中には心不全や脳障害まで引き起こす怖い病気だからです。

乳児の百日咳は、家族から感染するケースが多く、呼吸が止まり重い障害につながることもあるため注意が必要です。

では、定期接種のワクチンの効果はどうでしょうか？

昔は三種混合ワクチン、現在は四種混合や五種混合ワクチンで百日咳を予防しているはずなのに、なぜ社会問題になると思いますか？

実はワクチンの効果は4～5年しかありません。そのため一定期間をおいて百日咳の流行がおこるのです。

コロナの自粛期間で感染が抑えられていましたが、今は百日咳抗体が落ちてきたところなので全国的に流行しています。

石狩地区では、2024年末に流行がありましたが、現在も油断はできません。

上に記載のお子さんや妊婦の方・妊娠を考えている方は今一度、ワクチン接種をご検討してはいかがでしょうか。

